



STRIVING FOR EXCELLENCE

彦根東高はまもなく創立150年!
生徒と教職員が力をあわせて学校を創り上げています。



「動画で見る
彦根東高校」へ

彦根東高は国のWWL・SSHの指定校として、
常に生徒と教職員が新しい学びに挑戦しています。



PLIJ彦根東
コンテンツへ

滋賀県立彦根東高等学校

SCHOOL 2024
GUIDEBOOK



Introduction

赤鬼魂

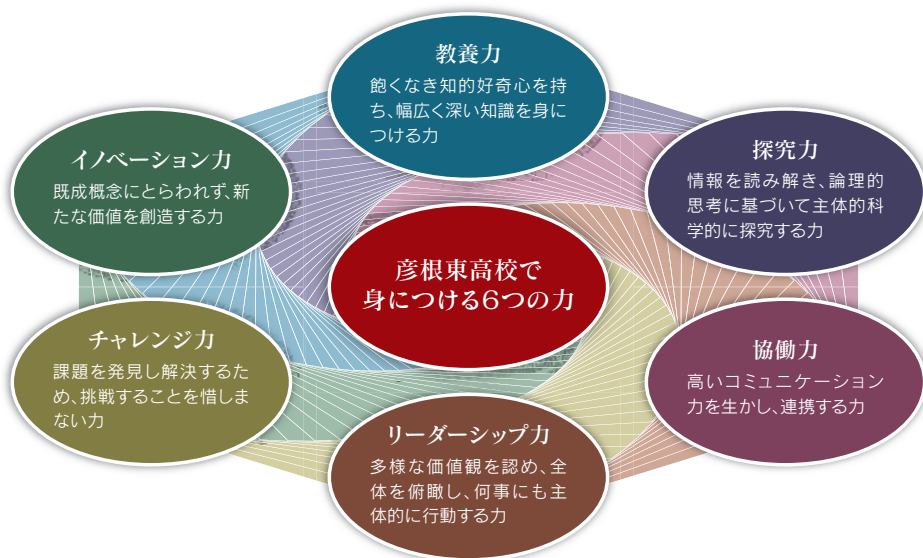


先駆者精神「赤鬼魂」

彦根東高は、彦根藩に由来する赤鬼魂を継承しています。これには、先駆者精神、先頭に立って活躍する、時代に先立って新しい道を切り拓く、何事にも屈しないチャレンジ精神という意义があります。

彦根東高スクールミッション (滋賀県教育委員会策定)

- 1 未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の**自立する力・伝える力・協働する力・創造する力**等の生きる力を育成する学校
- 2 開校以来の先駆者精神を尊び、予測困難な時代においても確かな行動力で未来を切り拓く人材を育成する学校
- 3 県内各地の多様な生徒が集い、創造性を育む探究的な学習等により世界で活躍できる人材を育成する学校



土曜講座「稽古館」 (名前は江戸時代の彦根藩校に由来)

彦根東高の教職員や外部講師による土曜開講のスペシャル講座。教科横断的な学習やフィールドワークなどの多彩な内容で楽しく学びます。



ブラ地理



彦根麦酒プロジェクト



数学オリンピック

学びの特色

「求めよ普く 究めよ深く」

- 彦根東高の校歌（作曲：古関裕而 作詞：吉田精一 昭和27年制定）の2番に「求めよ普く 究めよ深く 輝け叡智よ 湖上の月と」という一節があります。彦根東高では、幅広い教養を身につけ、常に探究心をもって自ら学びに楽しく向かう力を養います。

滋賀県各地から彦根東高に集まり大きく成長する生徒たち

- 彦根東高は明治9年に開校しまもなく創立150年を迎えます。決して、歴史と伝統に^{あぐら}をかかなく、その時代その時代の生徒と教職員が力をあわせて学校を創り上げています。
- 地元の彦根市、米原市はもとより、北は長浜市から南は大津市まで県全域から入学します。明朗快活な生徒も無口で沈黙思考の生徒もいます。皆がお互いを尊重し3年間の高校生活を通して大きく成長します。

令和5年度出身中学校市町別人数(人)

彦根市	約260
長浜市	180
東近江市	110
近江八幡市	100
米原市	70
蒲生・愛知・犬上郡	40
大津・草津・守山・栗東・野洲市	160
他市・国立・県立・私立等	40



特色ある教育課程

- 50分×7限授業で授業時間を確保
- 2年生から文系・理系コース分け
- 総合的な探究の時間の「課題研究」で探究力・チャレンジ力を養成
- 自習専用室の設置、土曜日の教室開放により自主学習を支援
- GS（グローバル・サイエンス）コース設置
- 文部科学省からWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業カリキュラム開発拠点校に県内で唯一抜擢
- 大学の授業を受講し単位を取得する「先取り履修」など県内外の大学との高大連携を推進
- 土曜講座、夏期講座、総合教養講座、人権教育講座などの特別講座を開講

令和6年度入学生 教育課程（予定）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年生			国語 (5)		地理歴史 (2)	公民 (2)					数学 (6)				理科 (4)		体育 (2)	保健 (1)						英語 (6)			家庭 (2)	情報 (1)	LHR (1)	総合探究 (1)					
	GS		国語 (5)		地理歴史 (2)	公民 (1.5)					数学 (6)				理科 (4)		体育 (2)	保健 (1)						英語 (6)			家庭 (1.5)	情報 (1)	Advanced Research I (2)	Integrate I (1)	LHR (1)				
2年生	文系		国語 (6)		地理歴史 (6)						数学 (5)			理科 (2)		体育 (2)	保健 (1)							英語 (6)			芸術 (2)	情報 (1)	LHR (1)	総合探究 (1)					
	理系		国語 (4)		地理歴史 (2)						数学 (7)			理科 (6)		体育 (2)	保健 (1)							英語 (6)			芸術 (2)	情報 (1)	LHR (1)	総合探究 (1)					
	GS		国語 (4~6)		地理歴史 (2~4)						数学 (7)			理科 (4~6)		体育 (2)								英語 (6)			芸術 (2)		Advanced Research II (3)	Integrate II (1)	LHR (1)				
3年生	文系		国語 (7)		地理歴史・公民 (8)						数学 (3)		理科 (4)		体育 (3)									英語 (6)					LHR (1)	総合探究 (1)					
	理系		国語 (4)		地理歴史・公民 (4)						数学 (6)		理科 (8)		体育 (3)									英語 (6)					LHR (1)	総合探究 (1)					
	GS		国語 (4~7)		地理歴史・公民 (4~8)						数学 (3~6)		理科 (4~8)		体育 (3)									英語 (6)						AR III (1)	LHR (1)				

※()内の数字は、週あたりの授業時間数を表しています。
1年GSコースの「公民」「家庭」は、2時間の週と1時間の週が交互にあります。

高い志と自主自律の精神で進路を切り拓く

彦根東高の大部分の生徒は、卒業後大学に進学します。そして将来、大学で研究者になる人、医者になる人、企業で活躍する人、様々な生き方があります。学校の先生になる人もたくさんいます。大学への進学は決してゴールではなく通過点です。東京大学や、滋賀医大に合格、これは単なる実績です。その先、どういう人間になるか、どう生きるか、生きていく強さを彦根東高の3年間で身につけてほしいと考えています。



総合教養講座

彦根東高のOB・OGは県内外で活躍しています。起業家、経営者、大学教授、医者、シェフなど様々な卒業生を講師に招き、生徒と意見交流をしています。生徒は、講師の働き方や生き方を目の当たりにし、自分自身が本当に目指したい進路を真剣に考える貴重な機会になります。

難関大集会

東京大学、京都大学、滋賀医科大学などの在大学生を招いて、最新の学術情報や受験勉強方法について、先輩から後輩に直接伝授されます。大学入試本番のエピソードや大学生活の様子なども語られます。参加した生徒からも勉強法やリフレッシュ方法など多くの質問が投げかけられ、例年大盛況です。

医系グループ 高校生版教師塾

医系グループでは、医療系志望者(医学・歯学・薬学・看護学・理学療法学・作業療法学など)を対象に、ガイダンスや面接指導、集団討論対策などを3年間継続して行います。高校生版教師塾では、彦根東高OB・OGの小中高の現役教員を招き、教員志望の生徒に教職の魅力伝える取組も実施しています。



難関大集会



医系グループ



過去問や入試資料が充実しています



田原 総一郎 さん

— [主な経歴] —
彦根東高校-早稲田大学-岩波映画製作所-テレビ東京
ジャーナリスト (テレビ出演・著書多数)

彦根東高校は、旧制時代は彦根中学で、小学校のときから彦根中学に入って野球部に所属し、甲子園大会に出場するのが夢でした。当時は進学校がほかにありませんでしたので、彦根東高校に進むことにしました。

高校時代、先生に「高校は大学受験のための詰め込みばかりでつまらない。そもそも、なぜ大学に行かないといけないのか、なぜ就職しないといけないのか、人生とはどういうことなのか、生きるとはどういうことなのか」と尋ねると、先生が面白がって若い哲学者を紹介してくれたり、わざわざ泊まりがけで先生も一緒にお寺に訪問して、科学技術が発達してもなぜ宗教が持続するのか、なぜ人間は宗教を求めるのか、という説明をお坊さんと先生からわかりやすく受けたりして、とても素晴らしい青春時代でした。

これからの時代を築いていくみなさんには、同調圧力に負けず、自分の頭で考え、自分の言葉で発言する人間になってほしいと願っています。

なお、私は野球部には所属しましたが、正選手にはなれず、私たちの代には甲子園出場も叶いませんでした。



図書室の田原総一郎文庫



廊下学習



有馬 純 さん

— [主な経歴] —
彦根東高校-東京大学-通商産業省 (現経済産業省)
OECD (経済協力開発機構) 日本政府代表部参事官
IEA (国際エネルギー機関) 国別審査課長
資源エネルギー庁国際課長、同参事官
大臣官房審議官地球環境問題担当
JETRO (日本貿易振興機構) ロンドン事務所長
東京大学院特任教授 エネルギー環境政策

私は1978年に彦根東高校を卒業しました。父の転勤により中学から高校の5年間を彦根で過ごしたのですが、彦根東高校の3年間は私にとってかけがえのない思い出です。今でも年に一度は彦根を訪れ、中高時代の友人と旧交を温めています。

東高校でまず思い出すのはチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番冒頭を使った始業チャイムです。入学試験のときにあの勇壮なメロディが流れてきた時は驚いたものです。東高校の校風の特徴は自由と大らかさでしょう。県内有数の進学校ですから勉強が重視されることはもちろんですが、部活動を含め、勉強以外の分野で自分の興味関心を見つけることも奨励されていました。文化祭、体育大会などの学校行事も盛んで、私は生徒会本部で夜遅くまで準備に精を出していました。1、2、3年の同じクラスナンバーを束ねて「団」をつくり、団対抗で学校行事を行うのは東高校独特の伝統です。大人びた3年生の先輩方と共に、おそろいの団カラーの法被に身を包んで応援合戦に参加し、様々な大学の校歌や旧制高校の寮歌を高吟したのは良い思い出です。この校風・伝統は今でも変わらないそうで、嬉しい限りです。

春夏秋冬、美しく姿を変える城山を朝な夕なに眺めながら、藩校以来の長い歴史を誇る東高校に通ったことは、私の人間形成に確かな影響を与えています。彦根東高校の門をくぐった皆さんが、それぞれに素晴らしい3年間を過ごされることを確信しています。



面談の様子 教員が希望進路実現を全力サポート



玄宮園から望む彦根城

過去5年間の合格者数

大 学 名	令和4年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度
北海道大	2	1	4	2	2
東 北 大	0	1	0	1	2
筑 波 大	1	1	1	3	1
東 京 大	0	2	1	1	1
金 沢 大	4	12	10	13	8
名 古 屋 大	3	10	11	3	5
滋 賀 大	19	14	9	14	19
滋 賀 医 大	5	9	7	11	5
滋 賀 県 立 大	10	14	18	11	12
京 都 大	12	8	12	7	11
京 都 工 繊 大	5	9	5	7	8
京 都 府 立 大	4	5	2	2	2
大 阪 大	17	10	13	11	14
大 阪 公 立 大	16	7	11*	15*	8*

大 学 名	令和4年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度
神 戸 大	13	14	10	10	9
岡 山 大	0	2	4	1	0
広 島 大	8	11	4	8	6
九 州 大	1	2	0	4	0
慶 応 大	4	3	5	4	6
早 稲 田 大	7	1	8	7	3
同 志 社 大	82	88	63	78	75
立 命 館 大	195	240	207	224	181
関 西 大	22	27	26	24	26
関 西 学 院 大	14	14	15	12	15
国 公 立 大 合 計	186	197	187	191	184
(内、医学部医学科)	5	9	8	8	4
私 立 大 合 計	826	920	812	785	768

* 大阪市立大と大阪府立大の合計人数です

夢中になれる場所 彦根東高



彦根東高最大のイベント
学園祭「東鬼祭」

- 1年から3年までの縦割りの「団活動」で優勝を目指します。さらに文化部発表や有志発表など、生徒会執行部による楽しい企画運営により、生徒が伸び伸びと創意工夫をこらして取り組みます。
- 彦根東高では東鬼祭のある一週間は授業を一切行いません。東鬼祭は、準備期間も含めて生徒が成長する場面が随所にあり、学校として授業をせずに、生徒の自立する力、協働する力、創造する力を身につけることを最優先しています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
始業式、入学式 対面式、離任式 第一回実力考査	1学期中間考査	春季高校総体・高文祭 校外模試(3年) 東鬼祭 (文化祭・体育祭) 難関大集会(3年)	1学期期末考査 校外模試(全学年) 終業式 夏期講座(3年) 海外連携校研修	校外模試(3年) 校外模試(2年) 始業式 第一回学力考査(1・2年) 第二回実力考査(3年)	校外模試(3年) 総合教養講座(2年)



文化の部 2年生による団舞踊



体育の部 学校開催での様子



体育の部 長浜バイオドームでの様子 R6年度も使用予定



文化の部 1年生による団合唱

グローバルな視野を広げる修学旅行

- 台湾を訪れ、現地の高校生や大学生との市内観光などを行っています。
- コロナ禍においても、長崎・福岡にて、平和公園（長崎市）など自分たちで考えたコースを外国人留学生と巡るなど、国際交流を深めています。



台湾への旅行

施設紹介

図書室 県下でも有数の蔵書数



自習室 完全独立46席



九州への旅行



多目的ホール 県内の木材で作られ、高い音響効果が魅力



部室棟



中庭 憩いのスペースになっています

10月

2学期中間考査
校外模試(3年)
人権統一LHR
秋季高校総体・高文祭
第三回実力考査(3年)

11月

校外模試(1・2年)
修学旅行(3泊4日)

12月

2学期期末考査
終業式
生徒会長選挙

1月

始業式
大学入学共通テスト
校外模試(1・2年)
人権統一LHR

2月

第二回学力考査(1・2年)
特色選抜入試
課題研究発表会

3月

卒業式
学年末考査
一般選抜入試
終業式

在校生・卒業生の声



文村 颯斗 さん

彦根東高校の学園祭である「東鬼祭」は全生徒が楽しみにしている三日間に及ぶ一大イベントです。一日目と二日目はひこね市文化プラザにて文化の部を、三日目は学校または長浜バイオ大学ドームで体育の部を行

います。私はその東鬼祭に一年生では生徒会執行部として、二年生では生徒会長として運営に携わってきました。東鬼祭は生徒みんなが中心となって作り上げていきます。そのような活動の中で私たちは出会って間もないクラスメイトと仲良くなり、学年の枠を超えた交流を行うことができます。

私は生徒会長として東鬼祭を作り上げ、みんなに楽しんでもらえたことがとても印象に残っています。団長の方々や、各クラスのリーダーなどを

中心に全校みんなで協力をして東鬼祭を作り上げることで自分たちで考えて行動する力がつきます。大変なことではありますが成功した時の喜びはとても大きなものとなります。

彦根東高校の魅力はこのように自主性を重んじているところだと思います。勉強も行事も部活もすべて私たち自身の力で最高のものにすることができます。ぜひ皆さんも彦根東高校に入学して最高の思い出を作りましょう。



谷村 和奏 さん

彦根東高校は、個々の力を引き出し伸ばすことができる学校だと、私は思います。私自身、この2年間で大きく成長できたと感じています。

まず、この高校では1年生の早い時期から進路指導があり、

将来について考える機会がたくさんあります。私は早くから明確な目標を立て、自分の進路実現の為にすべきことをこなしているうち、自然と自学自習ができるようになりました。また、自習室・廊下学習、土曜教室開放など自学自習ができる環境が整っていることで、同じように頑張っている仲間が周りに大勢いることを常に感じられ、自身のモチベーション向上にも繋がっています。

それから、部活動の所属率が高く、勉強と部活

動が互いに良い影響を及ぼし合っており、私も隙間時間を上手く使った効率の良い時間の使い方ができるようになりました。宿題、予復習や課題研究など日々やるべきことは多くありますが、短い活動時間の中でも内容の濃い練習を心掛け、近畿大会の団体戦(卓球)で1勝という目標を達成することができました。

皆さんも、彦根東高校で色々な力を身につけ、志高い仲間と共に充実した高校生活を送りましょう。



土田 ちこ さん (令和5年3月卒業) 大阪公立大学看護学部

私は、1年生の冬に部活動で大きな怪我をしました。コロナの影響で、東鬼祭は2年生になって初めて体験することができ、2年生は団舞踊でソーラン

節を踊ることになっていました。私は怪我の影響で踊ることができませんでした。2年生が主役の団舞踊で、私はクラスの仲間が放課後楽しそうに練習しているのを見ていただけで、何もできずにいました。そんな中、団舞踊のリーダーが私でもできるバックでの旗振りを任せてくれて、私も団舞踊に参加することができました。みんなの努力が報われ、準優勝という素晴らしい結果を残すことができ、私の一生の宝物となりました。東鬼祭

は、すべての生徒が輝き、仲間と協力し、作り上げていくものです。中学校までの先生が主体となっていて作り上げるものではありません。東鬼祭までの2週間、午後からの準備でクラスの仲間と意見を出し合い、試行錯誤し、とても充実した時間となりました。このような経験ができて、彦根東高校に入学してよかったと心から思います。みなさんも、彦根東高校に入学し、一生の思い出となる東鬼祭を作り上げてください。

青春をかける部活動

彦根東高では、共に高め合える素晴らしい仲間と、青春をかけて部活動に思いっきり打ち込めます。ただただ夢になれる。彦根東高には、運動部13部、文化部12部と2つの同好会・サークルの計27部があります。勉強も部活動も、目の前のことに真摯に向き合い続ける充実感を一緒に味わいましょう。努力する人をみんなでたたえ、みんなが努力する学校です。



運動部

野球 陸上競技 バレーボール(男女)
バスケットボール(男女)
バドミントン(男女)
水泳 ハンドボール 卓球 ボート
ソフトテニス(男女) 剣道 サッカー 弓道

文化部

新聞 GS(物理・化学・生物・地学・数学・
社会科学) ELC(英語)
吹奏楽 茶道 文芸 美術 箏曲
囲碁 将棋 料理 演劇
クイズ研究会 競技カルタサークル

令和4年度の活躍

【全国大会出場】

囲碁 新聞 GS 箏曲 文芸 ボート 陸上競技

【近畿大会出場】

囲碁 ELC GS 剣道 水泳 ソフトテニス女子
卓球 ハンドボール 体操(個人) ボート 陸上競技

第90回記念選抜高等学校野球大会



新聞部 福島県での取材



演劇部



山口 あかり さん
(令和5年3月卒業)
新聞部
京都大学経済学部

私が所属していた新聞部では自分たちがやりたいことや高校生に伝えたいことを部員同士で話し合い、よりよい新聞を作る

ために一人一人が自分の役割を果たしていました。そんな仲間の姿を見て自分も自発的に動くという気持ちになり、人として成長することができました。アクシデントが起こることもありましたが、お互いに助け合い、仲間がいることのありがたさを感じました。また、他の部活動への取材を通してどの部活動でも個人として、チームとしての目標に向かって懸命に練習に励む様子が伝わってきました。彦根東高校には部活動、勉強のどちらにおいて

も私たちに真剣に向き合ってください先生方がたくさんいらっしゃいます。部活動では私たちの意見を尊重するとともに活動に対するサポートやアドバイスをくださり、とても心強いです。担任の先生は面談を通してどんなことも相談ののってください、不安も和らぎます。

部活動や日々の学校生活のなかで仲間や先生方の支えがあることを感じ、また、周りの人を支えながら今しかない高校生活を楽しんでください。



山口 栞利 さん
(令和5年3月卒業)
陸上競技部
京都大学工学部

彦根東高校では素晴らしい仲間に出会うことができます。部活に情熱を注ぐ人、脇目も振らず勉強を頑張る人の他に、一見

ただ友達と遊んでばかりのように見えて、人との繋がりを大事にして、友好の輪を広げている人もいました。それぞれ目指すところ、考え方は違えど、誰もがぶれない芯を持ち、日々努力していました。僕が3年間部活を続けられたのは、そのような仲間の姿を目にし、触発されたからだと思います。また、勉強に疲れた時も、自分がライバルだと思っている人や目標にしている人、尊敬している人は今も頑張っている、と思えば、自然と机

に向かう気になれました。

それ以外の周囲の環境や自身の意志は変えられても、3年間を共に過ごす仲間だけは、入学してから変えるのは難しいと思います。ですから、高い志と強い意志を持つ仲間が集う彦根東高校に入学することは、実りある3年間を過ごしたいと考える人にとって、最高のスタートになると思います。ぜひ、周りの仲間を大切に、かけがえのない高校生活を楽しんでください。



サッカー部 人工芝のグラウンドを使った練習



陸上部 平和堂HATOスタジアムでの練習



ELC ディベート大会での様子



吹奏楽部 多目的ホールでの合奏



ハンドボール部 試合前の円陣



囲碁部 第46回全国総文祭



箏曲部



ボート部 彦根城を望むお堀から全国へ



弓道部 国スポ会場を使った練習風景



花田 勝彦 さん
陸上競技部

経歴 彦根東高校 - 早稲田大学 - エスピー食品株式会社 - 上武大学ビジネス情報学部准教授/駅伝部監督 - GMOインターネットグループ監督 - 早稲田大学競走部駅伝監督 (現職)

競技歴 アトランタ五輪 陸上競技10000m日本代表
シドニー五輪 陸上競技5000m・10000m日本代表
アテネ世界陸上 マラソン日本代表

彦根東高校での3年間は、その後の私の人生に大きな影響を与えました。中学校時代の私は、陸上競技では県大会でも入賞できないレベルの選手だったので、文武両道で取り組める環境がよいと考えて彦根東高校に進学しました。同じような志を持った先輩や同級生に囲まれ、勉強も部活動も創意工夫して取り組んだ日々が今では懐かしいです。特に部活動は、専門的指導のできる顧問の先生がおらず、部員同士でアイデアを出し合って練習に励んでいました。上級生になり長距離ブロック長となつてからは、専門書や雑誌を調べたり、強豪校の先生に練習方法を聞きに行ったりもしま

した。ソクラテスの言葉で『無知の知』というものがありますが、私の高校生活にはその言葉が当てはまりそうです。『わからない』『できない』自分に気づいたことで、『知りたい』『できるようになりたい』という探究心や向上心を持って行動する習慣が身につきました。またその習慣のおかげで、その後の競技生活でのスランプも乗り越えることができました。

若い皆さんには大きな可能性とたくさんの選択肢があります。高い志と自主自律、創造性を重んじる彦根東高校の素晴らしい環境の中で、それぞれが進む道を見つけられることを願っています。



田島 茂代 さん
野球部マネージャー

経歴 彦根東高校 - 東京藝術大学・大学院 - ミュンヘン音楽大学
バイフィツナー 歌曲コンクール第2位 ARDミュンヘン国際コンクールファイナリスト (女声第4位)
J.S.G国際歌曲コンクール第3位受賞
滋賀県文化奨励賞受賞
びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー
愛知県立芸術大学 非常勤講師

高校では自分の人生の目標を定め、その目標を実現するという「夢」に向かって、これまでよりもさらに力強く歩み始める時期だと思えます。そこでは自分を見つめ可能性を見出す自己への問いかけが必要となります。まさに私も高校2年で自分の進むべき道を決心しました。苦しみながら出した決断ではありませんが、今日までぶれずに自分の道を歩んで来られたからこそその当時の先生方の温かい応援があったからこそと感謝しています。

彦根東高校では「文武両道」をモットーに「高い志を持ち(挑戦)、知的好奇心に富み(発見)、決断し勇気をもって行動できる(実践)」という目標を持って日々勉強や部活に切磋琢磨し

ています。私が所属していた野球部も甲子園に何度も出場し、後輩達の頑張りに胸を打たれました。

東京、ドイツへと私は学びや活動の場を広げて故郷から離れたましたが、この彦根東高校で学べたことは誇りです。そして、ここで出会った友人や先輩後輩の皆さんは国内外でそれぞれの道で活躍をされておられ、彼らからもらえる刺激や友好関係は人生の宝物といえます。これから高校生となる皆さんが、高校の3年間、大いに悩み、苦しみ、歓喜し、笑いながら充実した日々を送り、その後の人生の礎をしっかりと築くことができるよう心から願っています。

Global Science for Innovation

14期18年のSSHを礎とし、文理の枠を越え総合的な学力や国際性を兼ね揃えたグローバルリーダーの育成を目的としています。昨年度から、滋賀県教育委員会は文部科学省から「WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業」の管理機関に指定され、本校は本事業の「カリキュラム開発拠点校」として研究開発を進めています。また、海外の連携校と“Trans Asia-Pacific Network(TAP)”を組織し、相互訪問・共同課題研究なども行っています。



2023彦根東サイエンス国際フォーラム

STEAM教育の充実とイノベーション力の育成

イノベーション力の育成などを目的とし、東京大学生産技術研究所内にある「(一般社団法人)学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)」と連携をし、STEAM教育を推進しています。

※科学・技術・工学・アート・数学の5つの領域を融合した教育を「STEAM教育」と呼びます。

国際性の育成

オーストラリア、インド、インドネシア、中国、アメリカの6校と提携し、定期的な交流を通して国際性と実践的な英語力を育成しています。

●海外研修 「オーストラリア連携校研修」、「シンガポール連携校研修」他連携校生徒宅にホームステイしながら、授業に参加し、研究施設等での研修も行います。連携校が来校された際にはホームステイのホストを引き受けることもできます。



オーストラリア連携校研修

●サイエンス国際フォーラム

TAPの連携校が参加し、課題研究の発表を始めとした交流を行います。令和4年度は実際にインドとインドネシアの学校を招き、オンラインを併用したハイブリッド開催をしました。対面参加の生徒達とは、書道や融合授業等の授業を一緒に行い、部活動体験や、彦根城散策等の活動を通して親交を深めました。次回はインドでの開催になる予定です。



ZOOM画面



連携校生徒との交流 日本文化体験



分科会での議論の様子

教科融合授業

様々なテーマに関して、複数の教科を融合した授業を行い、俯瞰的・多角的に物事を捉え、社会的課題などを解決する力を培います。

※これまでに、「感染症」「プラスチック問題」「時間の流れ」「フェイクニュース」をテーマにした教材を開発し、授業を行っています。



ICTを活用した発表準備



意見集約の様子

グローバル・サイエンス(GS)コース

社会的な課題を解決する力の素地と共に、国際社会のリーダーとしてふさわしい能力や態度を、探究活動や様々な研修を通じて育成します。国際性や語学力をベースに、自然科学・人文科学・社会科学の各領域を総合的に学ぶとともに、専門分野の領域を深く掘り下げます。

※GSコースは、これまでのスーパーサイエンス(SS)コースを発展させ、令和3年度より新設されました。

●課題研究

1年生はSDGsなどに関わるテーマ、2年生は自然科学や社会科学などを対象に、実験・観察及びフィールドワークを通してグループで研究活動を行います。研究成果は多くの発表会や学会で発表し、高く評価されています。

●Major Minor制(メジャー・マイナー・リサーチ)

専門性を深めたい2分野を定め、深い学びに繋がる探究活動を実施します。

(例) 物理工学と日本文学、無機化学と民俗学

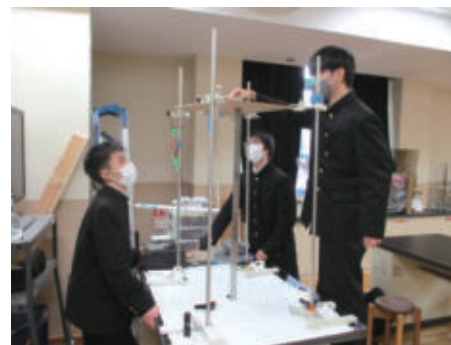
●各種講義・講演

大学などから研究者を招いての「先端科学研修」、JICAなど世界で活躍している本校OBなどによる「グローバル・セミナー」、新たな技術や商品開発を行っている大学や企業の技術者による「イノベーション力講座」などを実施しています。

●各種研修

琵琶湖博物館実習や、京都大学エネルギー理工学研究所・防災研究所、大阪大学産業技術研究所を始め、1泊2日で大阪・神戸の研究機関や大学を訪問する「関西研修」により、先端技術・研究に関する知識と理解を体験的に深めます。

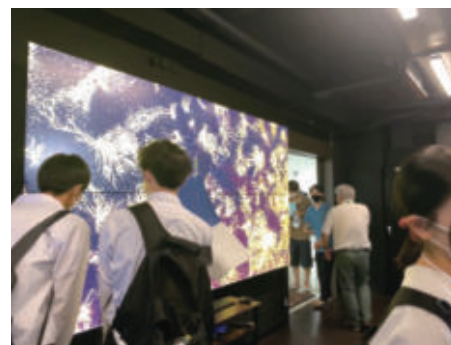
その他、外国人講師による授業・HR、プレゼンテーション講座など、GSコースだけの特別プログラムも数多く予定されています。



プッシュソレノイドを利用した物理実験



クラス内でのディスカッション



バイオイメージング学会参加(大阪大学)



馬淵 悟生 さん
(令和4年3月卒業)
東京大学理科一類

僕はバスケット部と囲碁部の兼部を考えていたため、最初SSコースを選択するか迷っていましたが、東高の先生に相談し大丈夫だと聞き、兼部をしつつSSに入るという決断をしました。結果、どれも最後までやり抜くことができ、とても楽しく過ごせたのでSSに入って本当に良かったです。

特に2年生からの課題研究では、一般的に大学生や社会人から経験するかもしれない研究活動を一足早くできたことが大きかったです。実験の計画・実験道具の準備・実験・結果の記録・考察・発表という研究に関わる一連の手順、また、実験

ノートへの記録・パワーポイント制作といった研究に必要な基礎的なスキルを学びました。自分達の原稿を自分達で英訳し発表する機会もありました。難しそうだと考える方もいるかもしれませんが、先生方から指導を受けつつグループで行っていくので心配はありません。

また、SSでは先輩方や外部の方の研究を知る機会や企業研修の機会が多く、興味深い話を聞くことができました。東高の研修は国内だけでなく国外へのももあり参加は自由ですが、参加者の意欲は高かったです。僕たちの学年はコロナの関係で海外研修は実施されませんでした。皆さんにはぜひその機会を活用してほしいです。

GSコースでもクラスメイトと様々な経験をして、きつと充実した高校生活を過ごすことができるでしょう。



寺井 恒輝 さん
(令和5年3月卒業)
大阪大学理学部

私は数学が好きで、入学前からSSコースを選択しようと思っていました。クラスには物理が好きな人、生物が好きな人などいろいろな個性の人がいて、皆面白いばかりで毎日楽しく過ごすことができました。

私はSS部の数学班と物理班に所属しており、部活動での研究や課題研究と3年間でたくさんの研究に携わりました。2年生の頃は課題研究と部活動での研究が重なり、特に忙しかったですが、いずれにも熱意をもって、最後までやりきることが

できました。自分の興味のある分野、自分のやりたい分野の研究ができ、とても楽しく研究をすることができてとてもよかったです。高校生のうちから研究に必要な知識や技術、さらにはリーダーシップや国際性なども身につけ、それらを研究によって実践するという経験を得られたのは非常に大きいと思います。

GSクラスでは、学年が上がってもクラスメイトはほとんど変わらないので、クラスの結びつきは他のクラスよりも強いです。それによって、課題研究でのメンバー同士が協力しての活動が円滑になるのはもちろん、クラス対抗のイベントなどでも非常に盛り上がります。皆さん、GSコースで仲間たちと楽しい日々を過ごしてください。



研究室訪問(東京大学)

学校説明会のご案内

1st

8/17(木) AM・PM

8/18(金) AM・PM

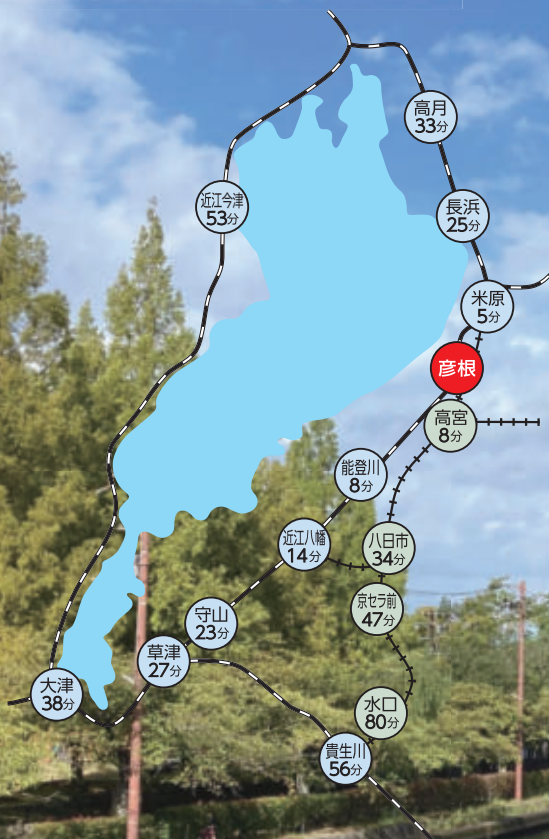
2nd

11/11(土) AM

内容

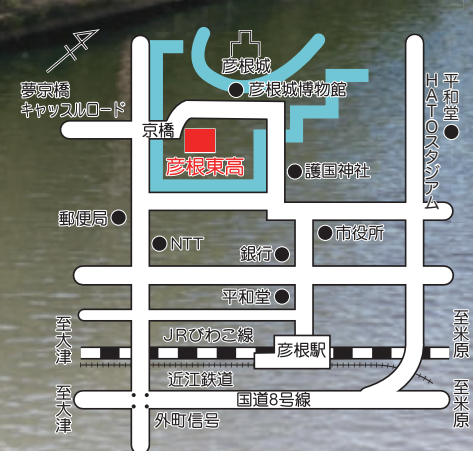
- ・学校概要説明
- ・授業体験
- ・部活動、施設見学 など

彦根駅までのアクセス



JR主要駅からの 所要時間		近江鉄道主要駅からの 所要時間	
大津	38分	水口	80分
草津	27分	京セラ前	47分
守山	23分	八日市	34分
近江八幡	14分	高宮	8分
能登川	8分	米原	11分
米原	5分		
長浜	25分		
高月	33分		
貴生川	56分		
近江今津	53分		

彦根駅からのアクセス



〒522-0061 滋賀県彦根市金亀町4番7号
 TEL 0749-22-4800 FAX 0749-26-3879
 最新情報はホームページで!
<http://www.hikonehg-h.shiga-ec.ed.jp/>



滋賀県立彦根東高等学校